

ベリーズ犯罪等発生状況（令和6年12月分）

[殺傷事件関連]

12月4日[強盗犯射殺事件] 午前8時頃、カヨ郡サンイグナシオ町のボイトン地区で、この町に住む少年（17歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。事件が発生した土地の所有者は、早朝に商品のチェックをするために敷地内のコンテナを確認しに行ったところ、ヒスパニック系の少年がコンテナ内で盗みをしているのを目撃した。所有者によると、少年が木材で襲いかかってきたため、自己防衛のため所持していた銃で少年の顔を撃った。撃たれた少年はコンテナ内から飛び出し、約12メートル離れた場所で倒れ、死亡した。

12月11日[殺人事件] ベリーズ郡ハッティビル村のダラー・バンク・ロード近くの墓地で男性2名の遺体が発見された。2名は11月下旬頃、ジョージ・プライス・ハイウェイの24マイル付近において彼らの乗っていた車両が放置されているのが発見されて以来、行方不明になっていた。

12月11日[離島ホテルでの窃盗犯死亡事件（当館注目）] 午前3時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町の沖合にあるタバコ島において窃盗をした男性漁師（22歳）が死亡する事件が発生した。この事件は、島のリゾートホテル従業員がホテル敷地内でうつ伏せの状態では反応がない男性を発見し、ダングリガ警察署へ通報し発覚した。警察によると、別の2名の観光客が就寝中に誰かが部屋の中を物色する物音で目が覚め、自分たちの私物を盗もうとしている男性を発見した。宿泊客の男性達は自分の荷物を取り戻そうと口論となり、その後、揉み合いへと発展した。揉み合いの末、男性は部屋のバルコニーから投げ落とされ、死亡した。

12月15日[銃撃殺人事件] 午前1時頃、トレド郡モンキーリバー村において、一家4名と飼い犬が銃撃される事件が発生した。警察によると、夫妻と幼児が殺害され、生き残った夫妻の子供が重傷を負い、南部地域病院へ搬送された。事件当日、この村をパトロール中だった警察車両が道路上で不審車両を発見し、車内を確認すると銃撃された遺体を発見した。調べによると、殺人の動機は金銭にあるとみられており、被害者らはボート購入のために現金3,000ベリーズドル（約23万円）を所持していた。所持していた現金を盗むため、この一家を狙ったとみられている。なお、この事件の容疑者男性は、被害者（殺害された夫）の従兄弟だった。容疑者男性はすでに逮捕、起訴されている。

12月25日[銃撃殺人事件] 午後9時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町のジョージ・プライス・ドライブ付近で男性（23歳）が射殺される事件が発生した。警察によると、南

部地域病院からの銃撃による負傷者発生の通報を受け、現場へ急行、到着した警察官が銃撃を受けて動けない状態の被害男性を発見した。警察の初期捜査では、被害男性はジョージ・プライス・ドライブ付近を歩いていたところ、バイクに乗った2人組の男が接近し、後部座席に座っていた男が発砲し、被害男性は複数被弾した。その後、被害男性は南部地域病院へ搬送されたが、まもなく死亡がした。

12月29日[銃撃殺人事件] 午後7時30分頃、ベリーズ市に住んでいる車椅子の男性が自宅前で銃撃される事件が発生した。警察によると、被害男性がリベロ通りの自宅付近で友人らと話していたところ、バイクに乗った不審者が通りかかり、被害男性達に発砲した。被害男性の友人らはなんとか逃げることはできたが、被害男性は車椅子だったため逃げ遅れ、銃撃により死亡した。警察は容疑者を特定するため住民へ広く情報提供を呼びかけると共に、現場に設置されていた防犯カメラの映像解析を進めている。

12月29日[殺人事件] 午前11時30分頃、カヨ郡ベンケ・ビエホ・デル・カルメン町において男性の遺体が発見された。警察によると、男性の遺体は、エルプログレッソ村からマウンテン・パイン・リッジに向かう道路の途中にあるマヤ・ランチ・エリア付近で通行人に発見された。男性の遺体は、顔、肩、手を激しく切り刻まれていた。近隣住民の目撃情報によると、被害男性は10時30分頃に自宅を出発し、マウンテン・パイン・リッジに向かった。その1時間後に、切り刻まれた遺体として発見された。

[強盗事件関連]

12月1日[強盗事件] 午後5時頃、グアテマラとの国境付近のカヨ郡アレナル村付近において、グアテマラ商人の男性（69歳）が強盗に遭う事件が発生した。警察によると、被害男性はベンケ・ビエホ・バスターミナルに到着後、国境に向かうためにタクシーに乗り込んだ。途中、タクシー運転手は国境手前のアレナル村の通りへ方向転換し、未舗装の道路に差し掛かったところで車を止め、約20cmのナイフを取り出して被害男性の首に突きつけ、所持品を要求した。被害男性は所持していた1,700BZ\$（約13万円）と1,000ケツアル（グアテマラ通貨：日本円で約2万）を強奪された。その後、被害男性は無事に解放された。

12月3日[バイク窃盗事件] 午後2時頃、グアテマラ国境付近のカヨ郡アレナル村付近の道路において、バイクの窃盗事件が発生した。警察によると、グアテマラ夫婦がアレナル村に住んでいる親戚宅を訪問しグアテマラのキニアグラスにある自宅へ帰るため途中、村内のゴミ処理場で銃を所持した男性の待ち伏せに遭った。さらに近くの茂みから覆面の

男2人が現れ、所持していた銃でこの夫婦にバイクから降りよう命じた。身の危険を感じた夫婦はバイクから降り、窃盗集団の1人が奪ったバイクに乗ってその場からさった。この事件の直後、夫婦はベンケ・ビエホ警察署に通報した。

12月3日[多額強盗事件(当館注目)] 午後1時頃、カヨ郡セントラルファームにおいて、強盗事件が発生した。警察によると、セントラルファームの管理ビルの厨房にいた女性従業員3名が昼休憩から戻ろうとしたところ、武装した男性2人に襲われた。強盗の1人が拳銃を取り出し、女性従業員たちへ床に伏せるよう命じた。その後、女性従業員を銃で脅しセントラルファームの金庫室へ移動、脅された従業員が金庫を開けると、強盗犯達は、売上金16,201BZ\$ (約125万円)と女性従業員達が所持していた携帯電話を合計3台盗んで逃走した。女性従業員達にけがはなかった。

12月4日[強盗未遂事件] スタンクリーク郡シルクグラス村において、強盗未遂事件が発生した。警察によると、商店にて武装した2人の男が押し入り、1人はレジ係を銃で脅しながらレジカウンターから離れるように命じ、その隙にもう1人がレジカウンターに侵入した。2人がレジの中身に入っていた現金を盗んでいる間に、付近にいた警察官が駆けつけ、店舗を襲撃したベリーズ市出身の強盗犯2人を逮捕した。また、盗まれた現金もその場で押収された。なお、逮捕された容疑者の1人は90年代に多くの犯罪を重ねて有名な犯罪者であった。

12月18日[強盗事件] 午後8時30分頃、ベリーズ市のエリック・スーパーマーケットで強盗事件が発生した。警察によると、強盗犯の男性(19歳)は午後8時過ぎ頃に拳銃を所持して店内に入り、レジ係に金銭を要求した。この際、付近にいた一般客が拳銃許可証を提示しながら所持していた拳銃で強盗犯に向かって3回発砲し、銃弾の1発は強盗犯の肩を打ち抜いた。その後、強盗犯は駆けつけた警察官に逮捕拘束され、そのままKHM病院に搬送され治療を受けている。

12月19日[窃盗事件] カヨ郡サンタエレナ町において、カリビアン・タイヤ店の倉庫警備員が盗みをしていた事件が発覚した。警察によると、同店の支店長は、前日の終業後、倉庫を閉めて帰宅し、翌日出勤した支店長は、倉庫が不自然に開いていることに気がついた。同店は以前にも強盗被害に遭っており、それ以来、支店長は点検の一環として、夜間の防犯カメラの映像を定期的に確認している。監視カメラの映像を調査したところ、12月16日の午前10時から深夜までの間に、カリビアン・タイヤ、シェルガソリン・スタンド、バンブー・ティー、ヘリテージ・バンクが入居している施設のカメラ監視を担当する警備員がカメラの画角を改ざんし、盗みをしていたことが判明した。支店長は警察へ通報し、警備員と共犯者の男性が逮捕された。

[違法薬物、違法銃器等関連]

1 2 月 9 日[密売目的で大麻草を所持] ベリーズ郡ダブルヘッドキャベツ村において密売目的で大量の大麻草を所持していた男性（26歳）と女性（32歳）の2名が起訴された。被告人の男性は、8日ベリーズ市治安判事裁判所で行われた裁判で、麻薬密売の罪を認め罰金刑を科せられた。警察の調べによると、事件当時、被告人男性の車両から約61キログラムの大麻草を発見した。これを受け、共犯者の女性とともに密売目的で大麻草を所持していた罪で共同起訴された。

1 2 月 1 2 日[大麻草密輸] オレンジウォーク郡ダグラス村付近で大量の大麻草を密輸しようとした3人組を逮捕した。警察によると、ハッティビル地区出身の男性3人組が乗ったピックアップトラックが警察車両を追い越したことで、警察は追い越した車両を速度違反の疑いで停車させ、取り調べの一環で車内を検査したところ約71キログラムの大麻草を発見した。3人組はその場で逮捕された。

1 2 月 1 2 日[大麻草所持] ベリーズ郡バレル・ブーム村において、使用目的不明で大量の大麻草を所持していたとして男性2名が逮捕された。警察によると、ベリーズシティ出身の男性2名が乗った車両がバレル・ブーム交差点の検問所にて車内検査を受けたところ、後部座席から約51キログラムの大麻草が詰まった袋を発見した。男性らはその場で逮捕、拘留された。男性らは今後、正式に起訴される。また、麻薬密売容疑に関しては、現在捜査中とされている。

1 2 月 1 2 日[違法薬物所持] 午後8時30分頃、オレンジウォーク町において、密売目的で違法薬物を所持していたとして、この町に住んでいた夫婦が逮捕された。警察によると、情報提供を受け夫婦の自宅を捜索したところ、406グラムの乾燥大麻と思われる透明な4つのビニール袋が入ったバケツを押収し、さらに、クラックコカインが入った14個の透明なビニール袋を発見した。クラックコカインは約500グラムだった。この夫婦は、他人へ密売する目的で違法薬物を所持していた罪で起訴された。

1 2 月 2 2 日[麻薬密輸機] 午前3時頃、トレド郡ドロレス村において麻薬を密輸していたとみられる小型飛行機の残骸と違法に建設された滑走路を発見した。警察によると、この飛行機はグアテマラとの国境から約15分の距離で発見された。当局は、飛行機がドロレス村で麻薬を積み、グアテマラへ密輸したあと、同村へ戻ってきたと見ている。近隣住民から火災の通報を受け、警察と国防軍が現場に到着した頃には、証拠隠滅のために機体は燃やされ、残骸だけが残っていた。

[その他事件・事故関連]

1 2月6日[警察官宅銃撃事件] 午前3時頃、カヨ郡セントマシューズ村にあるローリングクリーク署の警察巡査部長の自宅が銃撃される事件が発生した。就寝中だった巡査部長は銃声で目を覚まし、窓の外を確認したが誰もいなかった。ローリングクリーク警察の警官が現場へ急行、到着した警官らは、巡査部長の自宅正面の窓が銃弾で穴だらけになっているのを発見した。さらに近辺を調査したところ、自宅敷地内に駐車していたフォード製とトヨタ製の車両も銃撃されていたことが判明した。警察は、庭から29個の使用済み薬莢を回収した。

1 2月7日[交通死亡事故(当館注目)] 午後10時頃、カヨ郡サンイグナシオ町付近のジョージ・プライス・ハイウェイにおいて多重衝突事故が発生した。警察によると、乗客を乗せたトヨタ製の車両が走行車線をはみ出してフォード製の車両と正面衝突し、そこへ別のバイクが停止しきれずにトヨタ製の車両へ衝突した。この事故でトヨタ車に乗っていた9人全員とバイクに1人の計10人が死亡し、フォード車の2人が負傷した。この事故は、死者数でベリーズ史上、過去最悪の交通事故となった。

1 2月17日[国獣の交通死亡事故(当館注目)] 午後9時頃、カヨ郡ティーケルト村付近を通るジョージ・プライス・ハイウェイ上で、ベリーズの国獣であり絶滅危惧種に指定されているベアードバクが、車両と衝突して死亡する事故が発生した。事故処理に協力したベリーズ動物園及び熱帯教育センターによると、2024年に国内で記録された車両との衝突によるバクの死亡事故は、今回で6件目であると述べた。警察は、夜行性のバクが車道に侵入し、車両と衝突したものとして捜査を進めている。